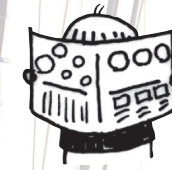


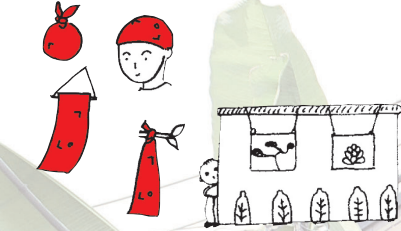
思わぬ発見ここにあり！
芸工展流、まちの歩き方

少しスマホから離れてみる。今日は、まちのひとに、このまちの魅力について聞いてみよう。自分の嗅覚を頼りに歩こう。そこから思わぬ発見や出会いがきつとあるはず。そう信じてみる。



① マップをGET

このマップを手にしたら…
開いてまず現在地を確認。
たのしいまちあるきをはじめよう♪



② 近くの企画展へGO

「ん、赤い手ぬぐいが掲げている！」
その手ぬぐいは、企画展参加者の目印です。見つけたら少しの勇気を試してのぞいてみよう！



③ いろいろ尋ねてみる

会場では、もしかしたら作家さんにも会えるかも。作品のこと、まちのこと、芸工展のめぐり方など、尋ねてみよう。そのご縁も芸工展。

芸工展 - 日常の延長にある表現をともに味わう祭典

毎年10月は「芸工展月間。」

谷根千界隈は、江戸の芸能・職人文化を受け継ぎ、近代・現代の芸術を育んできたまち。いつの時代もこのまちの人々はアートを身近に感じながら、自ら絵や唄を楽しみ、暮らしを手づくりの品々で彩ってきました。芸工展が目指すのは、住む人、訪れる人が歩いてまちの文化を再発見し、表現を通じた交流を生み出す、ゆるやかなプラットフォームになることです。

まちかど出展者の皆さんに聞きました！

まちのこと・まちへの願い

空が広がる町が続いてほしい／お寺の間に民家やひっそりとした路地があり、そこに懐かしい日本の暮らしが息づいているまち／縄文時代以前から人が、鳥や虫が、草木が安心して住めるまち／ずっと変わらない、坂を下るときに目にする勾配と家並み、坂の下の空間感／関わった人がご縁をくださるアナログな繋がりが息づく地域／昔の面影を残しつつ現在とマッチした町並みがずっと続いていきますように／路地を散歩してここがこう繋がってるのか！という発見や驚きが楽しいまち／目が合えば自然と笑顔でこんにちは！となるこの町が大好きです／人と人の間にゆるりとした繋がりを持てるまち／はらっぱ音地。何もないからこそ、何でも起きる谷中の重要文化空間。何もないままでいるあの場所を見るとホッとします／大きな大きなヒマラヤ杉のある静かなY字路でいつも活力をもらいます／新しさ・便利さばかりを追わず、過去から引き継がれた良さをマイペースに維持し、未来につなげるまちであってほしい。この先もずっと。

芸工展 2019

主催：芸工展賛同人一同
協力：谷中まつり実行委員会
ガイドマップデザイン：木村翠、野崎真見
ガイドマップ題字：平井澄園
ガイドマップ写真提供：シャントルウ ジェローム（ワト舎）
印刷：(株)ニホンプリント（まちの印刷屋さん）
連絡先：芸工展事務局
〒113-0022 文京区千駄木5-17-3〈谷根千記憶の蔵〉
E-mail: geikoten@gmail.com
http://www.geikoten.net/

ガイドマップについて 〈無料・ご寄付歓迎〉

マップは出展者から入手、マップデータはHPから入手可能です。芸工展はボランティアな活動として、皆が協力し開催を重ね、今年で27年目を迎えます。

芸工展賛同人を募っています！

毎年10月になったら「日常の表現をまちに開く」。そうした文化が育っていくことを願ってくださる方・お店を募っています。詳しくは…



よこ 芸工展

まちじゅゆうが
展覧会場
谷中・根津・千駄木・上野桜木・日暮里界隈

2019 ガイドマップ
2019/10/1~31

芸工展2019 まちかど展覧会

マップの記号早見表

- CV コンビニ
- i トイレ
- ★ オススメスポット
- 日暮里・諏訪台通り
- 谷中坂上・上野桜木界限
- 藍染大通り・根津界限
- 三崎坂下・谷中銀座
- 不忍通り・団子坂上
- 移動型企画

まち歩きの方法

- ・谷中は寺町暮らしのまち、
ゆくり青争かに一列で歩きましょう。
- ・写真はフラッシュに配慮を。
- ・路地ではひととご挨拶を。
- ・ゴミは各自で持ち帰りましょう。

移動型企画

- 59 谷根千まちばの健康プロジェクト
- 60 かみいけ木質文化ネットワーク
- 61 芸工展2019 芸工展の作られ方を知る



57 バリットフット
駒込学園前交差点そば

58 JAZZ喫茶映画館
白山駅A3出口そば

33 古書ほうろう
※東京大学池之端門前